



〈学校教育目標〉 1 進んで学ぶ子 2 やりぬく子 3 思いやりのある子

## 2学期

## スタート

### — 夏休み中、大変お世話になりました！ —

16日間と短い夏休み、いかがお過ごしでしたか。8月1日の夏休み初日に梅雨も明け、暑い日が続いていますが、今日から第2学期の始まりです。明日18日（火）から保護者教育相談となることから、8月中は、B5日課で14時25分下校の日が多くなります。どうぞよろしくお願いたします。また、暑い中での登下校となります。熱中症予防のため、マスクははずして登下校するようお願いいたします。（どうしてもマスク着用希望の児童につきましては、マスク着用可です。）

短い夏休みでありましたが、ご家庭でゆっくり過ごすことができましたと思います。大きな病気や交通事故等もなく、子どもたち全員が、元気に第2学期の始業式を迎えることができましたことうれしく思います。

また、PTA活動として、例年夏休みに実施している親子5S活動は中止とさせていただきましたが、本校職員による校舎内の消毒作業は続けてまいります。地域の皆様には、登下校の指導をはじめとして、様々な面でお世話になっていることと思います。今後とも、今までどおり、地域で子どもたちを見守りいただきますよう、どうぞよろしくお願いたします。

さて、第2学期は91日間です。1年生から5年生は遠足、また、5年生は宿泊学習、6年生は修学旅行があり、運動会、足利市陸上記録会など、たくさんの行事が予定されています。新型コロナウイルス感染症予防対策を万全にし、楽しく有意義な学校教育活動を展開していきたいと思ます。そして、10月からは、令和2（2020）年度の後半に入ります。「新しい生活様式」で「自分から学び」、自分の思いを存分に発揮しながら過ごしてほしいと思ます。6年生にとっては、小学校生活も残り半年となります。小学校のよい思い出を胸に中学校へ進学してほしいと思ます。

第2学期も引き続き、保護者、地域の皆様のご支援・ご協力の程どうぞよろしくお願いたします。



## ※第2学期始業式・児童代表の言葉

4年 椎名優衣 6年 栗田彩加

### ～デジタル一眼レフカメラ、CDコンポを購入～

地域の皆様からの寄付金及びPTA会費教育活動費にて、毎年、学校備品を購入させていただいておりますが、今年度は、デジタル一眼レフカメラ2台とCDコンポ1台購入させていただきました。

子どもたちの授業や行事の様子を撮影して学校だよりや学年だより、学校ホームページに載せたり、卒業文集に使用したりします。昨年購入させていただいたiPadと併せ、写真について充実させていきます。

CDコンポにつきましては、音楽室に常備し、音楽の鑑賞に使用いたします。音楽室におきましても、iPadと併用しながら、児童が深く学び合うICT機器の一つとして有効活用させていただきます。



### 一記念碑・昭和39（1964）年3月一

学校だより第5号（7月2日号）にて紹介しましたが、今から60年前の、昭和35年7月1日に、群馬県旧矢場川村の一部が栃木県足利市に合併し、本校も、矢場川村立矢場川小学校から足利市立矢場川小学校となりまりました。その3年後の昭和38（1963）年が創立90周年で、その翌年の昭和39年（これは、東京オリンピックが行われた年です。）に建立された記念碑を紹介します。正門入って左手にあるとても立派な記念碑で、本校創立90周年を記念して建立されたものです。記念碑の裏書には「創立九十周年講堂兼体育館建設並に全町民卒業生の醵金（きょきん）にまつ内部施設拡充を記念し茲（ここ）に小学校の沿革を記す 昭和三十九年三月 矢場川小学校講堂兼体育館建設委員会」とあります。昭和38年11月が創立90周年ですので、その年度の3月に建てられたものと分かります。「記念碑」の文字は当時の、木村浅七市長の揮毫です。矢場川小学校創立時からの沿革が細かく記されており、それを読むと、当時の方々の思いを馳せることができます。

実は、以前、本校のホームページに、本校にある記念碑について紹介しましたが、この記念碑につきまして、ぜひ、皆様に知っていただきたく、学校だより今月号に掲載いたしました。参考までに、記された文字を載せておきます。

明治6（1973）年の本校創立から、足利市への合併等の変遷がよく分かるものです。機会がありましたら、ぜひ、この記念碑をご覧ください。



記念碑（左）・二宮尊徳像（右）

記念碑に書かれた文字は次のようになります。

(表書)

記 念 碑  
足利市長 木村浅七書  
矢場川小学校沿革

- 明治 六年 十一月 栃木県学務係の指示を得て地方十二箇村 矢場  
村台之郷竜舞村上小林村荒金村植木野村石原村安良岡村茂  
木村八重笠村下小林村沖之郷 結社 矢場村恵林寺に仮校  
を設けて開校 校名を発蒙舎と称し後に舎を学校と改む
- 明治 九年 九月 群馬県管下に入る
- 明治 十年 大町村大町校を廃して当校に合併
- 明治 十九年 五月 矢場川尋常小学校と改称
- 明治二十二年 四月 自治制施行により 台之郷竜舞矢場の三連合を  
合し葦川村と称することになり本校を葦川東小学校と改称
- 明治二十七年 二月 葦川村より分村 矢場川村役場設置に伴い矢場  
川小学校と改称
- 明治 三十年 四月 先に通学困難なる事情により明治二十一年以後  
御厨尋常小学校に就学せる荒金地区児童は本校に帰属す
- 明治三十五年 三月 高等科を併置し 矢場川尋常高等小学校と称す
- 大正 八年 四月 矢場川実業補習学校を併置
- 昭和 五年十二月 東校舎及び付属建物竣工 三百五十一坪余
- 昭和 十六年 四月 勅令第一四八号により 山田郡矢場川村国民学  
校となる
- 昭和二十二年 四月 国民学校令廃止 六三制実施に伴い高等科は村  
立矢場川中学校に初等科は村立矢場川小学校となる
- 昭和二十七年 八月 校庭拡張 四百八十三坪
- 昭和 三十年 七月 西校舎新築工事竣工 二百四十九坪
- 昭和三十五年 七月 市町村合併により 植木野本矢場の二区は大田市  
へ 大町里矢場新宿藤本荒金の五区は足利市に編入され足  
利市立矢場川小学校となる
- 昭和三十八年 四月 通学区変更により 荒金地区は足利市立御厨小  
学校に就学
- 昭和三十九年 三月 創立九十周年に当り 合併時からの懸案であつ  
た講堂兼体育館は市費四百七十余万円にて竣工 卒業生並  
びに地区民の浄財百五十余万円により内部備品を整備す

(裏書)

創立九十周年講堂兼体育館建設並に全町民卒業生の醸  
金にまつ内部施設拡充を記念し茲に小学校の沿革を記す

昭和三十九年三月

矢場川小学校講堂兼体育館建設委員会

会長

副会長

同校長

同 PTA 会長

※記念碑に書かれているとおりに文字にしてみました。文字の配置で読みづらい箇所もあることご容赦  
ください。なお、令和3(2021)年1月1日が足利市制施行100周年となり、大きな節目を迎  
えます。足利市制施行は、大正10(1921)年1月1日で、県内では、宇都宮市の明治29(1  
896)年に次いで2番目です。

一詩の紹介一 学校だより第5号、第6号に引き続き、詩の紹介をさせていただきます。

しわは 人生の年輪だ  
おじいちゃんの おでこには  
たくさん の しわがある  
「じいちゃん このしわ…」と聞いたとき  
おじいちゃんは こう言った  
「このしわはな わしのほりなんだ  
わしの人生の 年輪なんだよ」と  
人はだれでも うれしいこと 楽しいこと  
つらいこと 苦しいこと  
いろんなことが あるんだと  
つらいときや 苦しいときは  
うれしかったときや 楽しかったときを 思い出し  
自分の力で のりこえるんだと  
つらいとき 苦しいときを のりこえると  
今まで以上に  
うれしいこと 楽しいことが くるんだと  
それが 人生なんだと  
このしわ 一本一本は  
つらいとき 苦しいとき  
がんばった しるしなんだと  
ぼくは決めた  
これから先 どんなつらいこと  
苦しいことがあっても  
おじいちゃんの しわを思い出し  
自分の力で のりこえようと  
やがて おじいちゃんような 年になったとき  
「このしわは わしのほりだ わしの人生の年輪だ」  
といえるよう がんばろう  
自分で自分を ほこれる人間に なれるよう!!

明星大学 網 保夫著 小学館『教室で子どものハートに灯をともし 心の詩 全37編』より  
9月には「敬老の日」があります。今や、「人生100年時代」「生涯学習時代」と言われ、年を  
とっても元気に仕事や趣味を楽しんでいる人がたくさんいます。お年寄りを大切にするとともに、  
お年寄りから学ぶこと、お年寄りと一緒に遊ぶこと、一緒に仕事することを通して、お年寄りとも  
に生きる喜びを味わうことが、本当の「敬老の日」であると言われています。